

# 議会だより



|                     |         |
|---------------------|---------|
| 定例会・企業会計決算          | ページ 2・3 |
| 決算審査意見書 表決結果        | 5       |
| 一般質問(生活・女性活躍・衛生を質す) | 11~17   |
| 研修・町民講座             | 18・19   |
| 新しい町づくりへ 私の提案       | 23      |

東黒川の保存会による獅子舞  
関連記事24p

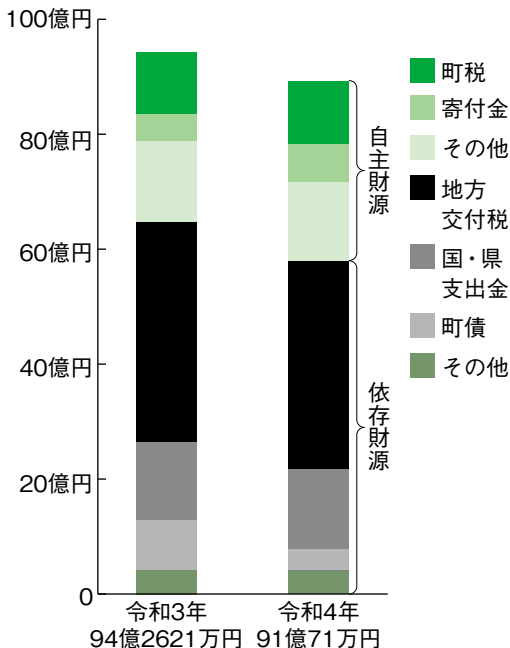


# 一般会計は、2年連続で歳入・歳出とも減少

## 令和4年度一般・特別・企業会計の決算を認定

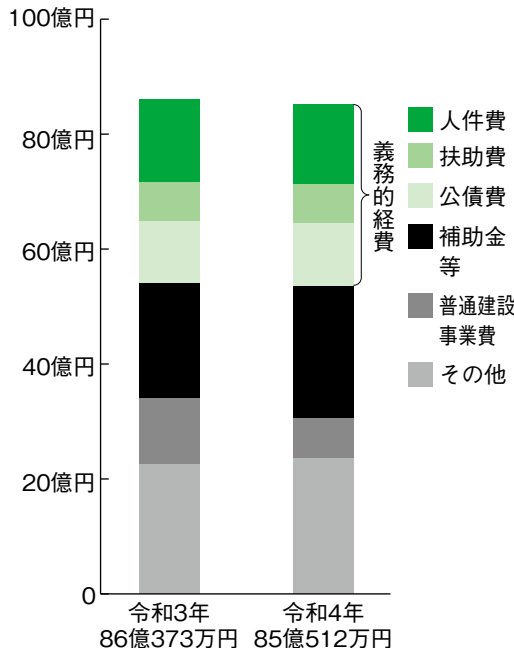
### 一般会計歳入の推移

自主財源(町税・寄付金・その他)の比率は高まっている。



### 一般会計歳出の推移

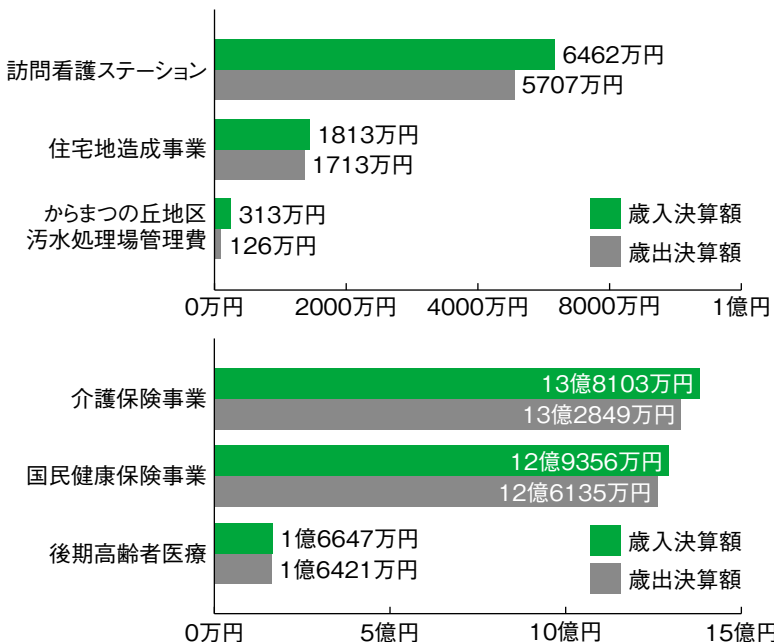
義務的経費(人件費・扶助費・公債費)は微減、補助金は増えたが、普通建設事業費は減った。



9月定例会は、1日から22日までの22日間の日程で開催された。町から提出された案件は、条例2件、決算の認定10件、補正予算8件、その他6件。26件すべて原案通り可決、認定した。請願4件すべて採択、陳情1件は継続審査となった。

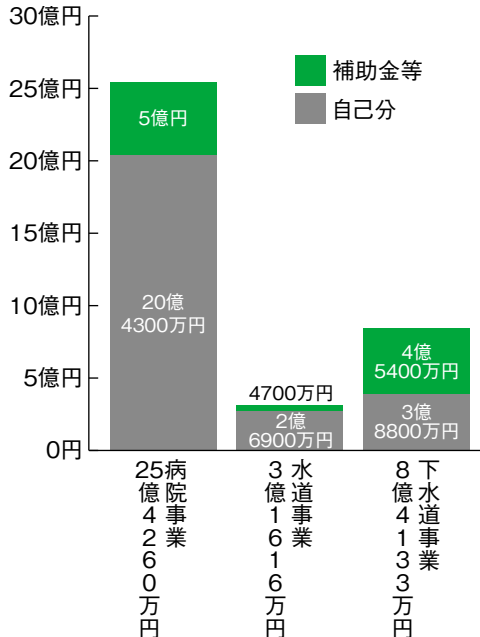
### 特別会計決算 令和4年度

収入と支出の大きさを表す。金額の差が非常に大きいので、2グループのグラフで示す。上側の棒が歳入を、下側の棒が歳出を表す。赤字の事業は無い。



### 企業会計決算 令和4年度

収入の総額に占める一般会計からの補助金の比率を表す。比率で言えば下水道の補助金が非常に多い。



# 令和4年度病院会計補助金内訳

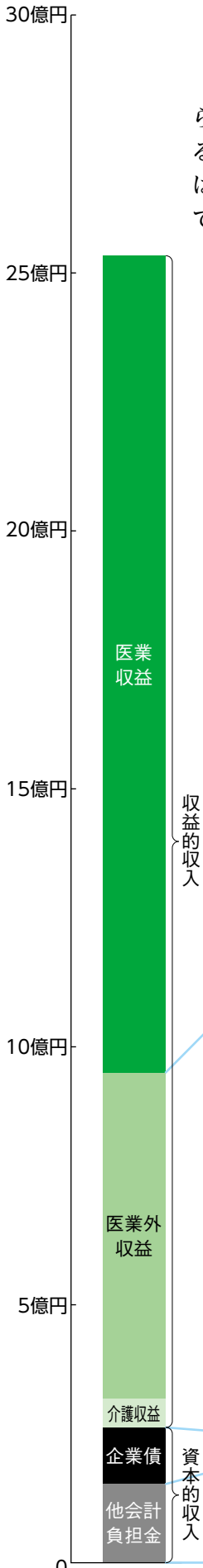
一般的に公立病院は、黒字にするのは難しいと言われており、赤字部分を一般会計から繰り出して収支を合わせている。医療診療の値段を需要と供給に合わせて自由に決めることもできないが、重要なのは、この赤字幅をどれくらいに抑えるかである。例年では4億円程度である。町長の説明では、このうち、実質町の負担は1億円程度とのことである。そこで、令和4年度の決算について内訳を分析した。

グラフ1は、病院の収益的収入と資本的収入の内訳を表している。総額約25億円となっている。町の一般会計が約91億円であることを考えると意外と大きい。収入のうち、本業の収入以外のものが、「収益的収入の医業外収益」と「資本的収入の他会計負担金」である。

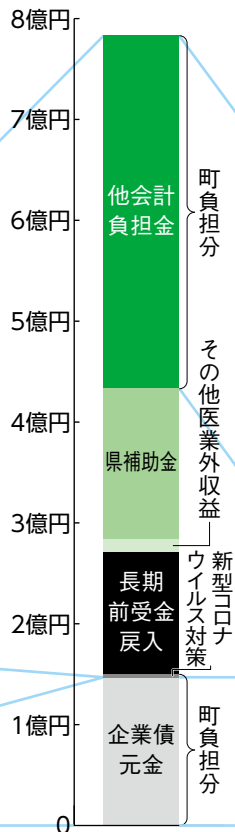
グラフ2は、医業外収益と他会計負担金の内訳を示している。合計で7億8000万円である。町が一般会計から出しているのは、このうちの5億円だけということである。残りの2億8000万円は、主に県の補助金や長期前受金戻入が占めている。

グラフ3は、町が一般会計で負担している5億円の内訳である。ここで注意して欲しいのは、基準外と基準内である。公営企業への補助金は、国が示した基準に沿ったものを「基準内」といい、これについては、地方交付税等において考慮される。グラフに記されている「基準外」の項目の合計は、1億3400万円となっており、補助金の約3分の1を占める。

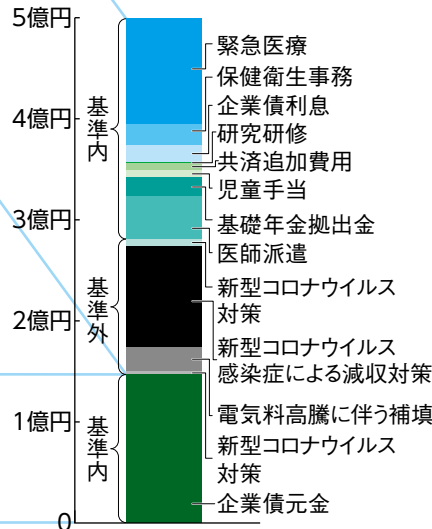
グラフ4は、グラフ3で示した5億円の補助金の原資(財源)の内訳である。普通・特別交付税に病院分として算定されているのが約2億6000万円、また、コロナ臨時交付金約2億8000万円から3200万円が充てがわれている。残りの約2億1000万円が、町が実質負担していると言われている金額となる。町民一人当たり、例年の2倍となる約2万円となる。例年と比べて多いのは、コロナ禍による減収と物価高騰が原因と言われている。



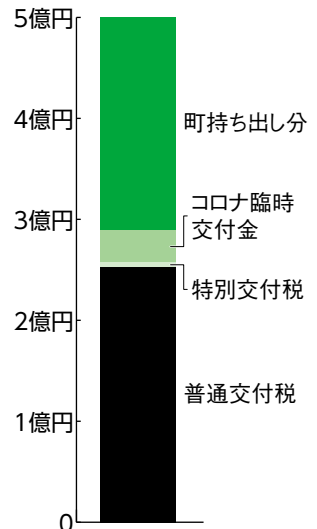
グラフ1 総収入の内訳



グラフ2 医業外収益と他会計負担金の内訳



グラフ3 町負担分の内訳



グラフ4 町からの繰出金の原資(財源)内訳



# 町民が住みよく暮らしやすい町へ 令和6年度予算・政策要望書を提出

議会報モニターからの意見や要望も含め、各常任委員会で検討後、全員協議会で確認し令和6年度に対する予算・政策要望書(重要事項6項目、6テーマ、69項目)を町長に提出した。

## 予算政策要望

### テーマ

1 誰もが思い描くふるさとの原風景をめざした環境づくり

- ・山林を開発し、太陽光発電装置の設置申請が出された場合、飯綱町自然環境保全条例を遵守し、特に土砂崩れ防止の観点からの確かな指示を設置申請者等に行うこと。
- ・太陽光発電装置の設置に関する条例を早期に制定すること。

2 自然と調和した安全で潤いとやすらぎの生活づくり

- ・アイバスの運行を土日、祝日の買い物、通院等に利用できるよう改善すること。

3 地域の資源と特性を生かした活力ある産業づくり

- ・農業従事者の高齢化等により援農の需要が高まっていることから、助っ人クラブと飯綱町人材センター等の機能統合など援農支援の充実を図ること。
- ・町有林の利活用について、キノコ収穫体験など都市との交流促進や産業づくりに生かすこと。

4 健やかで心のかよう生きがいづくり

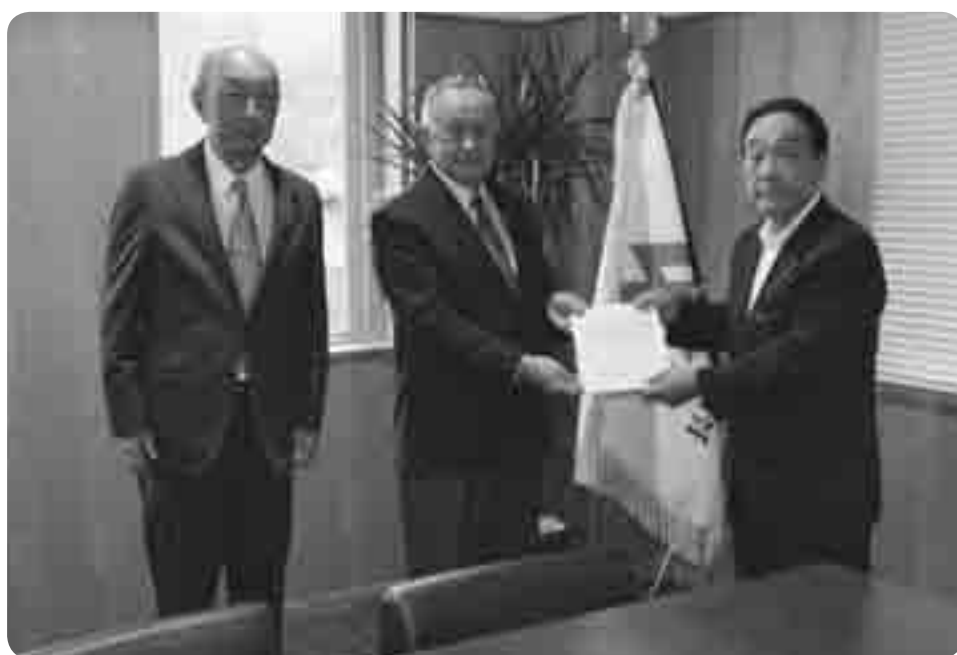
- ・特定検診受診率、特定保健指導実施率が町の目標値に達することができるよう努力し、生活習慣病予防と健康長寿のまちづくりを進めること。
- ・地域医療を支える飯綱病院においては、医師、看護師、薬剤師を確保し、更なる医療体制の構築に努めること。

5 郷土に誇りを持ち、豊かな感性で未来を担う人づくり

- ・子ども基本法に基づき、町全体で子どもの育ちを支えあい、子どもたちが健やかに成長するための条例を制定し、子どもに対する町の基本姿勢を示した上で、子育てサービスの充実と拡大を図ること。

6 未来をめざしたまちづくり

- ・町は、行政の審議会、委員会等への女性登用率の目標を30%としている早期に目標を達成すること。



▲10月4日町長に提出



令和4年度一般会計・特別会計・企業会計

決算審査意見書(抜粋)

代表監査委員 山浦修

歳入は予算額91億7900万円に対し、決算額は91億円となり、予算比7500万円の減収となりました。主な減少は、国庫支出金の7000万円、地方交付税の2000万円、県支出金の1700万円、町債の5700万円でした。逆に町税は予算額に対し1億700万円増加しております。町税は前年度決算と比べても3400万円増加しており、町税の内特に固定資産税は新型コロナウイルス感染症の影響に係る固定資産税の減免等が終了した影響により3200万円の増加しております。また寄附金(ふるさと納税)は6億7100万円あり、前年比1億8700万円増加しています。

歳出の決算額は85億500万円です。予算額に対し6億7400万円の減額となりました。翌年度繰越額が1億5900万円、不要額が5億1500万円となっています。

歳入歳出差引額5億9600万円の黒字(翌年度繰越額5100万円を差し引いた実質収支額は5億4400万円)となったことは、財政基盤の改善につながったと言えます。

地方債は、新規に記載された主なものは臨時財政対策債5200万円等です。元金10億6800万円償還しており、起債による財源の確保は妥当と言えます。

特別会計・企業会計への繰出金および事務組合等への負担額は、全体として3000万円増加しています。特に病院事業への増加額が7000万円と大幅に増加しており、水道事業は2400万円の減少となっております。病院事業への補助金は4億9900万円、下水道事業への補助金は4億4600万円であり、合計で9億4500万円となっています。これは、一般会計の11・11%に相当します。いずれも早急な対策を講じる必要があります。

監査

令和5年度 9月定例会 議案に対する各議員の賛否結果 (○賛成 ●反対)

| 議案名                      |                                                   | 表決結果 | 三ツ井忠義 | 中井寿一 | 小林文廣 | 瀧野良枝 | 青山弘 | 中島和子 | 樋口功 | 風間行男 | 目須田修 | 石川信雄 | 清水満 | 大川憲明 | 伊藤まゆみ | 原田幸長 | 渡邊千賀雄<br>(議長) |   |
|--------------------------|---------------------------------------------------|------|-------|------|------|------|-----|------|-----|------|------|------|-----|------|-------|------|---------------|---|
| 議案                       | 飯綱町犯罪被害者等支援条例                                     | 可決   | ○     | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○             | ○ |
|                          | 飯綱町特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例          | 可決   | ○     | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○             | ○ |
|                          | 令和4年度飯綱町一般会計歳入歳出決算の認定について                         | 認定   | ○     | ○    | ●    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○             | ○ |
|                          | 令和4年度飯綱町からまつの丘地区汚水処理場管理事業特別会計歳入歳出決算の認定について        | 認定   | ○     | ○    | ●    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○             | ○ |
|                          | 令和4年度飯綱町訪問看護ステーション特別会計歳入歳出決算の認定について               | 認定   | ○     | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○             | ○ |
|                          | 令和4年度飯綱町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について                 | 認定   | ○     | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○             | ○ |
|                          | 令和4年度飯綱町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について                  | 認定   | ○     | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○     | ●    | ○             | ○ |
|                          | 令和4年度飯綱町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について                   | 認定   | ○     | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○             | ○ |
|                          | 令和4年度飯綱町住宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について                  | 認定   | ○     | ○    | ●    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○             | ○ |
|                          | 令和4年度飯綱町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について                   | 認定   | ○     | ○    | ●    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○             | ○ |
|                          | 令和4年度飯綱町病院事業会計決算の認定について                           | 認定   | ○     | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○             | ○ |
|                          | 令和4年度飯綱町下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について                  | 認定   | ○     | ○    | ●    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○             | ○ |
|                          | 令和5年度飯綱町一般会計補正予算(第3号)                             | 可決   | ○     | ○    | ●    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○             | ○ |
|                          | 令和5年度飯綱町からまつの丘地区汚水処理場管理事業特別会計補正予算(第1号)            | 可決   | ○     | ○    | ●    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○             | ○ |
|                          | 令和5年度飯綱町訪問看護ステーション特別会計補正予算(第1号)                   | 可決   | ○     | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○             | ○ |
|                          | 令和5年度飯綱町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)                     | 可決   | ○     | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○             | ○ |
|                          | 令和5年度飯綱町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)                      | 可決   | ○     | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○             | ○ |
|                          | 令和5年度飯綱町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)                       | 可決   | ○     | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○             | ○ |
|                          | 令和5年度飯綱町水道事業会計補正予算(第1号)                           | 可決   | ○     | ○    | ●    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○             | ○ |
|                          | 令和5年度飯綱町下水道事業会計補正予算(第1号)                          | 可決   | ○     | ○    | ●    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○             | ○ |
| 固定資産評価審査委員会委員の選任について(3名) | 同意                                                | ○    | ○     | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○             |   |
| 損害賠償の額の決定について            | 可決                                                | ○    | ○     | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○             |   |
| 工事請負契約の締結について            | 可決                                                | ○    | ○     | ●    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○             |   |
| 諮問                       | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて                          | 適任   | ○     | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○             | ○ |
| 請願                       | 国の教育予算を増やして「高校無償化」を復活し、給付奨学金制度の確立を求める請願           | 採択   | ○     | ○    | ○    | ●    | ●   | ●    | ●   | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○             | ● |
|                          | 地域高校の存続と30人規模学級を求める請願                             | 採択   | ○     | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○             | ○ |
|                          | 「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額」・「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願書  | 採択   | ○     | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○             | ○ |
|                          | 「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める請願 | 採択   | ○     | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○             | ○ |
| 陳情                       | 「健康保険証」の存続に関する意見書の提出を求める陳情書                       | 継続審査 |       |      |      |      |     |      |     |      |      |      |     |      |       |      |               |   |

\*採択した請願は発議により関係機関へ意見書を上げました。

表決結果

# 町のお金は適正かつ効果的に使われたか

## 令和4年度決算を徹底チェック

### 総務費

#### ふるさと納税の目的は

**質問** ふるさとに貢献や応援を目的としたものが、納税者は高額返礼品を目当てに人気の自治体に集中しているが。

**回答** 現実的には返礼品に魅力があって寄附する人も多いと思われるが、町では目的通り使用し、分類で金額まで列挙している。自主財源の確保に繋げる。

**質問** 国の経費は46・4%、町は49・8%。返礼品に半分近い経費が掛かるが、更に問題が出てくるのでは。

**回答** 国が、絶対に5割を超えては駄目となると、パーセンテージをさげることとを交渉している。税制自体を見直して欲しい。

#### 補助金見直しは

**質問** 区・組活動費補助事業で人口減による補助額が減少している地区があるが。

**回答** 現状は、均等割りと戸数割で算出。これまで見直ししていないが検討する。

#### 投票率を上げる改革を

**質問** 50%を割る状況を改善する検討を。また、経費削減のためだけに投票所の再編は如何なものか。

**回答** 有権者が投票しやすい環境を整える。有権者アンケート調査を実施している。

#### 費用対効果は

**質問** 電子決済システムは紙処理と比較して安いのか。

**回答** 単純に比較するとシステム導入は明らかにコストがかかるが、同時に一斉に決裁文書を確認できる。コストだけでは測れない大きなメリットがある。

#### リノベーション工事

**質問** 野村上移住体験住宅の工事内容詳細は。

**回答** 洋間と台所の壁をなくしLDKに改修。工事費約699万円。

**質問** 費用対効果・使いやすさをどう見込んでいるか。

**回答** 新たな形として農機具の展示など昔の農家の暮らし体験ができ、体験者

に充分満足していただける施設である。

### 民生費

#### 運動機能向上訓練

**質問** 事業の委託先と委託料の根拠は。WESTの利用者は。

**回答** 委託先は社会福祉協議会。委託料は人件費、消耗品費・通信費等。利用者は2194人。

#### 担当変更は

**質問** 自立支援医療や精神保健福祉手帳の担当が健康管理センターから福祉係に変わった理由は。

**回答** 重層的支援のため精神障がい者手帳、自立支援医療、福祉医療に関する業務を福祉係で一本化する。

#### 子育て支援センター

**質問** 大学連携事業で、令和元年から3年計画で行われた350万円の事業内容は。

**回答** 子育て支援センターの活用方法・玩具の選定の指導。また子育て講座の開催や、小・中連携研修会を行う。引き続き取り組む。

### 衛生費

#### 可燃ごみ処理委託料は

**質問** 収集費と長野広域連合費か。ごみ袋代の手数料は。

**回答** 見込みのとおり。処理手数料は清掃費実費徴収金として807万9420円。

### 農林水産費

#### りんごレザーは

**質問** 取組状況は。

**回答** 県の工業技術センターや合成皮革製造会社と連携。残渣の粉末を原材料に合成皮革の試作品が完成。価格等を設定し、商流に乗せるように進める。

### 選挙は



18歳以上から

## 農地中間管理機構

**質問** 荒廃農地対策として適切か。

**回答** 中間管理機構が農地を一度借り受けて新たな借り手に貸す事業。全てを借り受けることが出来ない現状だが、今後、地域計画が作成されれば農地ごとの借り手が決まるので、機構を通して貸し借りは活発になると考える。

## 収入保険掛け金は

**質問** 補助上限額5万円について増額の考えは。

**回答** 来年度収入保険制度が改正される。積み立て方式の部分が保険方式と積み立て方式のどちらか選択が可能。保険方式の場合、掛け金は高くなる。改正内容を踏まえて対応を検討する。

## 集落営農組織設立を

**質問** 支援の具体的内容は。

**回答** 横手区内の耕作者

が減少する中、区内有志の方で農地を維持したいと、取組が始まった。集落支援員が中心になり多団体に向けて設立に向けて必要の準備を学び、有志で勉強会や検討会を開催するサポートを実施。

## 消防費



## 消防団の将来は

**質問** 定数確保が厳しいが。

**回答** 定数485人に對し440人。消防委員会等で定数減か、女性団員を増やすなど検討していく。現有勢力を維持していきたい。

**質問** 機能別消防団とは。

**回答** 団員の平均年齢が5歳位上がっている。経験者には本当に大きな災害で現場に出て動いていただくことにより、地域の防災力を維持できればと考える。

## 防災備蓄品を

**質問** 有事の際に建物がつぶれた場合の人工透析で段ボールの間仕切りを備える考えは。

**回答** 病院での備蓄も必要と考える。今後病院との調整を考えていきたい。また、有事の際に優先的に提供してもらうために、企業等と災害時の応援協定を結んでいる。

## 教育費

## 防犯カメラ設置

**質問** 文化財保護費から寺に補助金交付があるが、宗教法人に対する補助は問題ないか。

**回答** 町指定文化財に対し、町文化財保護条例に基づきカメラ設置を実施した。

## 原因は

**質問** 発達障がいの人が増えているが。

**回答** 愛着障がい等の後天的な要因がある。また医学の発達に伴い診断される人が増えた側面もある。

## 早めの更新を

**質問** 調理場施設管理費の大規模修繕は機械の故障で給食提供が出来ない最悪の事態を防ぐため、計画にこだわらず早めの更新を。

**回答** 3年前からの実施計画に基づき計画的な整備に努めている。機械の不具合は優先的に、緊急性の高い機械は今年度でほぼ完成する。

## 企業会計

## 水道事業

**質問** 老朽管の更新計画は。

**回答** 計画期間15年。最初の5年間は、三水地区水

源を三水浄水場から日向に移行。次の5年間で牟礼地区老朽管の布設替え。最後に5年間で福井団地系管路と第7配水池系管路の二重配管を統合して一本にする。



▲移行予定の三水浄水場

## 病院事業

**質問** 職員マネジメントについて、経営強化プランに、職員育成は盛り込まれているか。

**回答** 職員体制まで記載するようになっていないが、今後を担える職員の育成に努める。



# 上下水道は、施設整備が必要 そのため、財源確保と使用料の見直しを検討

## 町長「必要経費を全額使用料に求めるのは無理と考える」

### 条例制定・改正

#### 中野市の事件を受けて、上程

飯綱町犯罪被害者等支援  
条例  
—可決

#### 制定理由

犯罪被害者等の支援等につき、基本理念を定め、町民、事業者等の役割を明らかにし、誰もが安心して暮らすことができる地域社会の実現を目的として制定するもの。

#### 質問

中野市の事件をきっかけに条例制定を前倒しにしている市町村があると聞いている。飯綱町の今回の条例制定も同じか。

#### 回答

元々、令和5年度中に制定する予定で動いていたが、中野市の事件を受けて今回上程した。

#### 質問

支援金の内容は。回答 遺族支援金30万円、重傷病支援金10万円を予定している。

### 賛成討論

原田幸長

同じ事件で、被害者等の居住地の条例の有無で、見舞金や生活援助など手厚い支援が受けられる人と、そうでない人がいる現状がある。明日犯罪被害者等となるかもしれない地域住民の安心のため、条例制定に賛成。

伊藤まゆみ

昨年9月議会会で、この制定を求めた。この条例が必要ない社会であることが良いが、現状はそうではない。町長がいつも口にして「誰一人取り残さないまちづくり」の一環として、必要な条例である。

飯綱町特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 —可決

#### 改正理由

長野県最低賃金が10月1日から、時給908円から948円に引き上げられるのを受け、日額「7200

円」の非常勤特別職の報酬を「7400円」に改めるもの。

### 企業会計決算

※有収率は72・5%

令和4年度飯綱町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について —認定

#### 概要

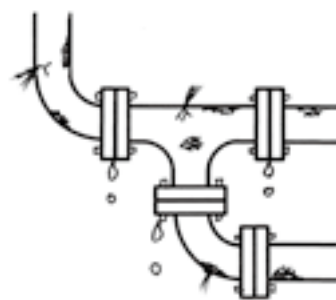
経営の健全化を示す経常収支比率は、105%になり健全経営の水準とされる100%を上回っている。料金水準の妥当性を示す料金回収率は、84・5%で事業に必要な費用を給水収益で賄えていない。一般会計からの繰入で赤字にしている。

管路については、老朽管等の施設更新が急務。

一般会計からの繰入金 4700万円

※有収率とは、水道管に送った水の量に対する蛇口から出て使われた水の量。100%にならないのは、水道管からの水漏れ等によるもの。

の。町は80%超を目指している。



▲約3割が水漏れ

今年も、一般会計からの繰入金に依存する厳しい経営状況

令和4年度飯綱町下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について —認定

#### 概要

経常収支率は、100%を超えているが一般会計からの基準外の繰入金を受入れて100%超になっている状態。汚水処理に要する費用を使用料以外の収入で補っている状態。経費回収率を改善するための使用料改定(値上げ)が必要。一般会計からの繰入金 4億5400万円 ※経費回収率は、汚水処

理に要する費用を下水道  
使用料でどれだけ賄えて  
いるかの指標  
令和4年度81・6%（令  
和3年度96・5%）

医療利益は前年よりも  
約6000万円の  
赤字増加

令和4年度飯綱町病院事  
業会計決算の認定につい  
て  
―認定

概要

診療実績は、外来患者数  
が7万5200人で前年度  
より2373人の減、入院  
患者数は、前年度より19  
7人の減。前年度よりさら  
に低調に推移したため、医  
業利益は、4億8700万  
円の赤字。この赤字を医業  
外収益（一般会計からの繰  
入金等）で補填して黒字に  
している。

・一般会計からの繰入金  
5億円



▲飯綱病院

補正予算

令和5年度飯綱町一般会  
計補正予算（第3号）  
―可決

既定予算に6億7860  
万円を増額して、総額を90  
億83万円とするもの。  
主な歳入

・地方交付税  
5億7963万円

・国庫・県支出金

5695万円

・ふるさと応援寄付金

3億円

・繰入金

常任委員会

▲3億5110万円  
・繰越金  
1億1715万円  
主な歳出  
・ふるさと納税事業費  
1億9424万円

・ふるさと応援基金積立金  
1億575万円

・病院施設費  
5000万円

・下水道事業会計繰出金  
5000万円

・予備費  
1億3446万円

・請願・陳情

常任委員会で不採択  
本会議では賛否同数  
議長裁決により採択

国の教育予算を増やして  
「高校無償化」を復活し、  
給付奨学金制度の確立を  
求める請願  
―採択

請願者 長野高教組北部高  
等学校分会  
分会長 櫻井啓也

国は教育予算を増やし、  
「高等学校等就学支援金」  
の所得制限をやめ、「高校  
生等奨学給付金を拡充する

とともに、給付奨学金制度  
の確立を求めている。

反対討論

青山弘

高校無償化の所得制限  
をなくすことを平等とは  
思わない。所得や富を豊  
かな者からそうでない者  
に移転することが経済的  
な平等を実現するため  
は必要である。910万  
円以上は高所得と思うの  
で負担いただきたい。

賛成討論

中井寿一

少子化対策にもなり、  
年金の原資となる働き世  
代を増やすためにも、子  
育て世代の経済的負担を  
軽減する必要がある。国  
力を上げるためにも、○  
ECD中で低い順位の公  
的資金の比率を少しでも  
上げることが必要である。

伊藤まゆみ

安心して学べる環境を  
整えることは、国の責務  
だ。子育て世代の収入が  
実質的に減少しており、

国民負担率が48%超との  
報告もある。「異次元の  
少子化対策」の真の実現  
を求めるために、声を上  
げるべきだ。

地域高校の存続と30人規  
模学級を求める請願  
―採択

請願者 長野高教組北部高  
等学校分会  
分会長 櫻井啓也

地域高校の存続と30人規  
模学級を求める意見書を県  
教育委員会へ提出するよう  
求めている。

意見 募集しても集まら  
ない状況があり、地元の  
中学校からも行っていない。  
魅力ある高校にして  
いかなければだめだ。現  
場の教職員が一番わかっ  
ているはずで、何かやっ  
てもらわないと人が集ま  
らない。提案が欲しい。



▶北部高校の書道パフォーマンス(令和4年8月27日撮影)

「さらなる少人数数学級推進と教育予算の増額」・「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願書  
―採択

請願者 飯綱町教職員組合  
執行委員長 徳永幹子

どの子にもゆきとどいた教育をするため、請願書の内容を政府及び関係行政機関へ意見書として提出することを求めている。

【質問】 昨年は少人数数学級20人とあったが、今年は消えているのはなぜか。

【回答】 20人は急ぎすぎるとの指摘をいただき、今回は削除した。

反対討論

樋口 功

国は、2025年までに全小学校で35人学級にする。この効果を見てさらなる少人数学級が必要かを検討すべきである。現段階では請願内容に緊急性、実現性がない。

石川 信雄

本請願は全国一律の要求であり、私は都市部と山間部、その地域の実情にあった政策が真に教員不足の解決になると考えるので、この請願には反対する。

賛成討論

伊藤 まゆみ

長野県は、県独自の予算で中学3年生まで35人規模学級を実現している。義務教育費の国庫負担が減り、自治体の負担が増えている。未来を担う子

供達の教育環境の整備は、国が責任をもって行うべきだ。

「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める請願  
―採択

請願者 飯綱町教職員組合

執行委員長 徳永幹子

へき地手当等の支給率について、近隣県との均衡を勘案し、2005年以前の水準に戻すことを求めている。

賛成討論

中井 寿一

長野県のへき地手当の率は、国の定める基準の数分の一である。さらにへき地手当の原資は、国からの交付金であり、県が率を減らしても意味がない。ほとんどの県と同じ、基準通りの支給率をお願いする。

工事請負契約の締結について(追加議案) ―可決

1 契約の目的

令和5年度飯綱町民会館天井改修工事

2 工事場所

飯綱町大字牟礼1989

3 契約の方法

一般競争入札

4 契約金額

7590万円

5 契約の相手方

株式会社 日本電気通信工業

代表取締役 川浦 善夫

人事案件 ―同意

固定資産評価審査委員会委員

山浦 幹雄氏

松木 洋二氏

梨本 克裕氏

人事案件 ―適任

人権擁護委員

森野 由美子氏

令和5年第2回臨時会  
7月19日開催

1 事業名

令和5年度 防災対策(ハイブリッド型IPトランシーバー・衛星通信トランシーバー導入)事業

2 事業内容

(1) ハイブリッド型IPトランシーバー(携帯型) 24台

(2) 衛星通信トランシーバー(庁内・車載型) 2台

(3) 衛星通信トランシーバー(携帯型) 3台

(4) ネットワーク対応型無線機(庁内・車載型) 2台

(5) その他周辺機器等

3 契約方法

指名競争入札

4 契約金額 935万円

5 契約の相手方

株式会社 日本電気通信工業

代表取締役 川浦 善夫



# 一般質問 生活・女性活躍・衛生を質す

あおやま ひろし  
**青山 弘** 12ページ

ふるさと振興公社の経営は

かざま ゆきお  
**風間 行男** 15ページ

- 1 交通施策は
- 2 燃料高騰対策は
- 3 食料自給率アップに向けて

なかい ひさかず  
**中井 寿一** 13ページ

各種イベントの安全確保をどう考えるか

なかじま かずこ  
**中島 和子** 16ページ

飯綱町女性活躍推進社会の現況は

はらだ ゆきなが  
**原田 幸長** 14ページ

- 1 奨学金返還支援制度は
- 2 帯状疱疹ワクチン接種への助成は
- 3 HPVワクチンの積極的勧奨は

たきの よしえ  
**瀧野 良枝** 17ページ

- 1 住民の多様な視点を活用した魅力ある町づくりの実現を
- 2 部活動の地域移行の進捗状況は

- 一般質問は、議員が町の行政全般にわたり、執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求めるものです。
- 一般質問の詳細については、ホームページ、議事録でご覧になれます。
- 一般質問の原稿は各議員が責任をもって編集しています。



飯綱町議会は、随時、本会議や常任委員会での傍聴を受け付けています。一般質問に登壇する議員の質問事項や、気になる案件の議案等がありましたら、どうぞ、議場までお出掛けください。また、傍聴した感想をお聞かせいただくと、大変ありがたいです。



## 議会傍聴にあたってのお願い

- 傍聴席での携帯電話の使用はご遠慮ください。
- 傍聴者は、傍聴受付簿に必要事項を記入してください。
- 傍聴席での私語や発言は厳に慎んでください。
- その他、「飯綱町議会傍聴規則」を厳守してください。

詳しくは規則をご覧ください。



ふるさと振興公社

残念だが赤字が続く体質である

町長 現場スタッフとしっかり話し合っていきたい



青山 弘議員



▲直売所 四季彩

青山 昨年、町長は、「経営健全化計画を作成して、経営健全に当たっていききたいと思っている」と答えている。計画を策定したか。

副町長 第三セクター等の経営健全化方針の策定する必要のある法人には該当しないと考

状況の中ではあるが、公社の売上金額は、3億円を超えた。

**経営健全化計画は未策定**

営業利益は赤字だが、全体の売上は初めて3億円を超えた。

青山 3期連続の赤字だ。本業の営業利益は、今年も1470万円超の赤字である。

町長 そもそも設立するときに「会社のための振興公社じゃ困る」「農家のため」というスタンスで作った。しかし、赤字体質は、見直さなければと思っている。

副町長 コロナ感染症や物価上昇という非常に厳しい



▲直売所 むーちゃん

青山 「食ごよみ日和」の営業利益は、673万円のマイナスである。昨年より赤字が増えた。昨年の7月から、新しいメニューに変更したがこれで改革になるのか。

副町長 そばを中心に地元野菜等を活用しながら営業してきた。しかし、客数は伸びず赤字経営から脱却できなかった。設立当時の「農家レストラン」というコンセプトを思い起こし、地元素材のメニューの具体的な活用方法を考えたり、新しいメニューを検討しているところである。

青山 日和の損益計算書を見ると、売上総利益が778万円なのに、対し人件費が1074万円と売上の1・38倍になっている。

しかし、経営健全化に向けた取組は必要であると考

えている。

**「食ごよみ日和」の運営を公社が担うことは適切か**

青山 「食ごよみ日和」の営業利益は、673万円のマイナスである。昨年より赤字が増えた。昨年の7月から、新しいメニューに変更したがこれで改革になるのか。



▲日和のお客をどう増やすか

経費を見直しても、赤字が続くのであれば、この事業の運営を考えなければと思うが。

町長 日和を作ったのは、おいしい三水米を売り込みたいと思ったからだ。ともかく地元の食材にこだわりたい。願わくは、本当に嘘のない素晴らしいものだと言われる日が必ず来ると思っている。それまでどう工夫して耐えていくかが、また、他の部門で補っていくかが重要なことだと承知している。

一般質問

# 各種イベントの安全確保を

## 町長 交通誘導は必ず安全確保する



中井 寿一議員

### 小学生駅伝大会の 安全確保

**中井** 今年度から交通安全協会の活動が大幅に縮小された。無くなった活動のひとつに交通誘導がある。町道を使った町のイベントでは、大変お世話になっていた。小学生駅伝大会では、交通安全協会に交通誘

導をお願いしていたが、これができなくなつた。代替策として、参加チームの保護者に依頼することも考えているが、全くの素人に交通誘導を依頼するのは、安全面で問題がある。なんとかならないか。  
**町長** 安全を確保するために、必要なら予算処置を行う。

### 元旦ジョギング 大会の安全確保

**中井** 同じように町道を使うイベントに元旦ジョギング大会がある。毎年、飯綱スポーツクラブの同じ役員が担当しており慣れていると



▲元旦ジョギング大会での交通誘導

言えるが、安全面で不安が残る。今後も町内で町道を使ったイベントがあると思うので、何らかの基準が必要を思うが、どう考えるか。  
**町長** 公道で一般の協力者に交通整理を行わせるのは、資格の問題がある。開催する部局と相談する。

### 海洋クラブ主催の イベントの安全確保

**中井** 海洋クラブは、三小や牟礼小の5年生対象に体験会を開いているだけでなく、県の職員向けの体験会や一般向けの体験会、トムソーヤ関連やスポーツクラブ主催のイベントなど、様々な体験会を行っています。ここで安全面での大きな担保となっ

ているのが、レスキューと呼ばれるエンジン付きゴムボートである。このレスキューが老朽化のために使えず、安全面の担保ができない状態である。このことをどう考えるか。  
**教育次長** 車検と同じように船舶検査というものがあ



▲本来、床は平らでないといけないが、このように空気漏れで使用できない

考える。老朽化は進んでいるのは事実なので、B&G財団の補助事業を活用して計画的に更新する。  
**中井** 車検と同じように合格したから安全というわけではない。計画的と言うのが、いつ船を更新するのか。  
**教育次長** B&G財団の補助事業の締め切りは8月なので、来年申請となり、再来年の更新となる。





原田 幸長議員

# 奨学金返還支援制度は町でも必要

## 町長 制度を検討したい

**環境を整え支援することは行政の責務**

**原田** 経済が不安定な中、貸与型奨学金を受ける中間所得層の負担軽減のため、奨学金返還支援の充実が必要だ。地方創生、経済対策、少子化対策、若者支援に大きく貢献すると考えられる、奨学金返還支援制度を町でも必要と考えるが、町長の見解は。

**町長** どこに住んでいても、教育を受けたい希望者を受けられる環境を整えてあげよう。その支援をしていくのは行政の責務だ。その支援が地域の活性化、若者人口の増につながる政策であることは深く承知している。担当とも打ち合わせをする中で検討する。

**带状疱疹ワクチン接種に助成を**

**原田** 50歳から80歳までに3人に1人が発症するといわれている带状疱疹。ストレスや加齢による免疫力低下で発症する。ワクチン接種が有効だが、2回接種で約4万4000円かかる。



▲政府が進める奨学金返還支援制度は、町でも必要

厚生労働省は定期接種を検討中だが、地域住民の带状疱疹の発症を防ぐ意味から、一定の年齢層を対象に、町で先行して带状疱疹ワクチンへの助成を進めるべきと考える。町長の見解は。

**町長** 国の定期接種変更を注視していきたい。かなり全国的にも支援をしていく流れがある点、また、国の定期接種になったとすれば住民の皆さんにPR、周知、推進を進めていく。今後の予防接種の在り方を担当と相談・検討する。

的勧奨差し控えの影響を受けた世代に対しても、キャッシュアップ接種が開始された。町のキャッシュアップ接種対象者は何人か。

**保健福祉課長** 平成9年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた女子300

### 一般質問

**子宮頸がん撲滅を**

**原田** HPVウイルスが引き起こす子宮頸がん。令和4年度にHPVワクチンの積極的勧奨が再開され、合わせて積極

人。

**原田** 厚生労働省作成の子宮頸がんリーフレット概要版には、一生のうち1万人当たり132人が子宮頸がんに罹患し、34人が亡くなるとあり、町でも同様なりスクがある。あらゆる手段で対象者の不安払しょくする啓発を行い、子宮頸がん撲滅を目指して欲しい。

**保健福祉課長** ワクチン接種の安全性や、がん検診受診の重要性も合わせ、積極的な周知・啓発と情報提供をしていく。



▲带状疱疹ワクチン接種

# 夜間の公共共通施策は

## 町長 フルデマンドスタイルを考えている



風間 行男議員

### 夜間の公共共通施策は

**風間** しのの鉄道の利用者は、牟礼駅19時10分以後に到着した場合はバスやタクシーなど公共交通手段がなく、独居者、免許返納者の中には帰宅困難者となる方がいる。対策の考えは。

**町長** フルデマンドスタイル（予約状況による運行）を考えている。タクシー1台分を町が整備し1日1万円（補助で複数台確保し、大きな会社と連携するのが良いか、今後検討する。

**風間** 駅前の空き店舗を改装し、一部を帰宅困難者用の宿泊施設とし、さらに親の都合で送迎困難な学生、高齢者が使えることで生活支援が可能となると共に、しのの鉄道利用促進にもなると思うが。

**町長** 第2の施策として町営アパートなど都市計画市街化地域の補助金があれば検討したい。



▲閑散とした駅前

### 燃料高騰対策について

**風間** 燃料高騰は住民生活への影響が懸念される。福祉灯油、農業等今後の対策は。

**町長** 農業経営を圧迫している。担当課で試算している。

区、組の集会施設には210万円を補正した、生活弱者の皆さんへの支援を検討する。  
**産業観光課長** どういった支援ができるか県の支援や他自治体の実情を見て検討したい。

### 食料自給率アップに向けて町として推進しては

**風間** 地産地消だけではなく、飯綱産コシヒカリ特Aを近隣市などにPRしてはと考えるが。

**町長** 飯綱米は大変おいしい。新米イベントを検討させている。

**産業観光課長** りんごフェアで米の消費拡大イベントを検討する。

### 有機農産物の普及方針は

**産業観光課長** みどり認定者に交付金を出している。

**風間** 有機農産物栽培等、子供たちにも説明が必要。

**産業観光課長** 町内産の減農薬農産物を学校給食に利用を進めている



▲減農薬有機肥料栽培田

る。生産者や耕作地増に取り組みたい。

**教育長** 保育園から体験学習通して取り組む。小1、中3まで学習している。有機農産物は積極的に取り組みたい。

**風間** JAS認証の取組は。  
**町長** 有機農産物としての販売に必要、最終目標生産に取り組んでいきたい。





中島 和子議員

# 女性活躍推進社会の確立を 町長 多様性、価値観を重んじた 町政を展開

## 計画は順調か

**中島** 「日本一女性が住み  
たくなる町へ」第2次総合  
計画作成から、7年目を迎  
えた現時点の総括は。

**町長** 様々な事業に取り組  
んでいるが、最終的な大  
きな目標に向かって道半ばだ  
と思う。

**中島** 女性支援施策の評価  
と今後は。

**教育次長** 平成28年度から  
令和3年度まで、教育委員  
会事業の決算は24事業で3  
億2300万円（地方創生  
推進交付金1億3200万  
円）。毎年事業評価と達成  
度の検証。最新のニーズに  
合った事業を心がける。

## 地域と行政の取組を

**中島** 女性がいきいきと能  
力を発揮させることが男性  
分野にも広がり、地域にも  
変化が起きる。女性登用へ  
施策は。

**町長** 古いしきたりが、ま  
だ根強くある。女性役員登  
用はまだほんの僅か。これ  
までの成果、評価をPRし、  
積極的に女性登用を進めて

いく。

**中島** 男性中心の地域運営  
の改善を。

**町長** 男女が交代しながら  
の活動に、行政がどう関わ  
れば良いか。先進的な事例  
は大いに進めていきたい。

## 若者と考える

### 平等社会へ

**中島** 10代20代のZ世代の  
多様性や、ジェンダー平等  
の考え方から気づくことが  
ある。「日本一女性が住み  
たくなる町」を掲げている  
町とし

て、先  
進的な  
改革が  
必要で  
は。

### 教育長

学校教  
育の中  
で、男  
女格差  
は無く  
なって  
いるが、  
社会の  
中では  
まだ隔

## 一般質問

たりがある。教  
育の力で変えて  
いきたい。

## 計画を

### 実効性の あるものに

**中島** 町独自の  
法的根拠が必要  
と思われるが、  
条例制定の考え  
は。

**町長** これまで、  
大きな議論はし  
ていない。ただ



▲3世代で考える男女共同参画社会

制定して  
あるだけ  
のもので  
は意味が  
ない。男  
女共同参  
画が、ど  
んどん進  
んでいく  
ような条  
例である  
なら大い  
に検討し  
たい。  
**中島** 計  
画の目標

達成へ到達点と、今任期中  
の政治目標と決意は。  
**町長** 女性進出は数値的に  
は寂しい現状である。女性  
活躍とか男女共同参画など  
の言葉が使われなくなるこ  
とが当たり前である社会、  
多様性や価値観を重んじた  
町政を展開していく。今任  
期中2年で、到達するのは  
極めて難しい大きな問題。  
「日本一りんごの町」を位  
置づけてきた。これからも  
「日本一女性が住みたくな  
る町」を言い続けていく。



▲日本一のりんごの町へ・日本一女性が住みたくなる町へ



## 男女共同参画社会

# 達成目標を定めた条例制定を

## 町長 住民の意識変革と同時に進めたい



瀧野 良枝議員

### 町づくりの視点を 参画の視点を

**瀧野** 国土審議会の資料では「固定的な性別役割分担意識が地方に根強く存在」「女性にとつて魅力的な地域を作らなければ、持続可能な地域社会の発展は望めない」とのこと。町づくりへの考えは。

**教育長** 一番遅れているのが家庭。夫婦の家事分担は8割が妻。一番進んでいるのは学校。地域社会や職場

へも、教育の力で積極的に啓発したい。

### 目的に合わせた 効果的な広報を

**瀧野** 広く知らせる広報と、行動変容を促す広報の切り分けを。対象者を明確にした発信、また人生の各段階において問題意識も異なり、情報を取得する力も変化する。効果的な広報を。  
**教育長** バランスを考慮する。

**瀧野** 「iなびいづな」

は申請機能・質問機能等、利便性が高く、若年層への広報にも有効。登録増を。デジタルサイネージ※も見る人の属性に合わせた情報選別を。  
**企画課長** 必要な情報発信に取り組み。

(※デジタルサイネージ：電子看板、役場、飯綱病院、いづなコネクT、EAST・WEST、メラプラザ、牟礼駅に設置済)

▲町内外から多くの参加者が集まり関心の高さを見せた女性活躍シンポジウム(講師:上智大学 三浦まり教授)

### 実効性のある セミナー計画を

**瀧野** アイワークのRPA※講座は3年間でセミナーや実証実験(総額500万円)が行われたが、現状は。音声起こし講座(2年間で約48万円)はグループとして自立したがそれぞれの費用対効果は。

**教育長** RPAは在宅

で高収入を望めるということとで挑戦したが、難しく、見直す。

**瀧野** 町内外の事業者と連携して、学んだことを実践に結びつけるサイクル等、実効性のある取組が重要。

**教育長** 音声起こしは、関係部局を含め、区や組、各種団体等、地域の支えの中であらうまくいっている一例。

(※RPA：ロボットによる業務自動化の取組)

### 効果的な条例制定を

**瀧野** 男女共同参画は、政策目標、達成目標を定めて条例化し、予算確保、継続実行のための定期チェック、



▲アイワークでの講座をきっかけに結成したグループの活動(町民講座でのリアルタイム字幕)

内部や外部の評価を入れながら、推進していく意味でも効果的では。改めて町長の考えを。

**町長** 必要性は非常にわかるが、併せて住民の皆さんの意識変革の普及と条例を同時に行っていきたい。

### 部活動の地域移行の 進捗は

**瀧野** 検討委員会の協議内容は。

**教育次長** 各スポーツ・文化団体や、部活動指導教諭、外部指導者に聴き取り調査を行い、アンケート調査の準備中。保護者へのアンケートは、近々発送予定。

# 町村議会議員研修会

7月14日 松本市キッセイ文化ホール

## 第1部 「議員のなり手不足と住民参加」

講師：人羅 格 氏  
(毎日新聞 論説委員)

## 第2部 「これからの少子化対策」

講師：大沼 みずほ 氏  
(大正大学 社会共生学部 准教授)



### 《2023統一地方選では、無投票当選の増加傾向止まらず》

町村議員選挙は373選挙のうち無投票が123町村（1250人、比率は過去最高の約30%）

町村議選の投票率は55.49%（前回比4.2ポイント減）

### ◎「脱・無投票」に動く地方議会

#### ①北海道栗山町議会

「議員の学校」現職議員が選挙の仕組みや選挙運動について講義を行う。町内外から20人が参加。受講生3人が出馬、当選。

#### ②山形県庄内町議会

18年改選で欠員を経験したことから検討会議を設け、住民も参加して定数や報酬見直しを議論。「女性模擬議会」を実施。昨年6月の選挙では、定員を6人超す20人が出馬（3人の女性新人候補はいずれも模擬議会経験者）

#### ③北海道浦幌町議会

20代から30代の女性3人を含む新人4人が当選。過去の定員割れをきっかけとして、なり手不足対策を議会の最優先課題に。報酬のあり方を見直す（※）と同時に住民と気軽に対話する活動を積極的に展開。19年選挙から「脱無投票」を実現。今年4月の選挙では移住者2名を含む3名の女性議員が新たに誕生した。

（※浦幌町では、町長の給料をベースに、議員の活動日数から算出する「浦幌方式」で報酬を決定。月額17万5000円から23万1000円に増額した）

～長野県内では、以下の取組が紹介された～

- 議会の運用の見直し（夜間・休日議会の開催／喬木村議会）
- 子育て世代の議員報酬を増額する試み（生坂村議会・中川村議会）
- 議会モニター制度の活用（飯綱町議会・高山村議会）
- 事前の進退表明（喬木村議会・木祖村議会・大桑村議会）

人羅氏からは、「なり手問題」の対策として各議会の取組紹介のほか、女性の参入が決定的な要素になるとの提言があった。今統一選では、市議選で女性当選者が初めて20%を超し、町村議選では15.4%となり、女性の参加が進めば地方議会の「なり手」問題の構図は一転する可能性がある。そのためには、出産、育児と議員活動を両立できる環境整備、議員間や有権者からのセクハラ・パワハラ対策等が重要であるとのことであった。

なり手不足の対策として、様々な角度からのアプローチの必要性を感じ、今後の参考としたい。

第2部では、国や県の少子化対策についての説明があり、新たな対策として、予期せぬ妊娠への全面的支援、里親制度の拡充、東京の一極集中是正、地方の少子化対策の底上げ、性別役割分担意識改革などが提言された。



# 2023年度 飯綱町民講座

8月5日、町民会館において「今、この国で起こっていること、いま地域住民がすべきこと」と題し、青木 理氏（ジャーナリスト、ノンフィクション作家）を講師に、畑谷文代氏（作家、信濃毎日新聞論説委員）との対談形式での講演が開催された。

「みんなで学び みんなで行動する町」をスローガンに、2015年8月に議会と町との共催で初開催された町民講座も本年で9回目を迎えた。

## 飯綱町議会議長 渡邊 千賀雄

昨年に引き続き開催された町民講座。会場の町民会館ホールいっぱいの参加者の下で開かれました。

青木氏は「社会保障などへの将来不安を国民が抱いており、消費の抑制や少子化が進んでいる。世襲政治が続いて政治が機能不全を起こしている」など予定時間をオーバーするほどの対談式の講座でした。

会場からは多数の感想や意見がメモで寄せられました。◆政治への不満をつぶやくだけでは現状を変えられないことはわかっていますが日常生活で何をどう変えていけばいいのか。◆ロシア・ウクライナの見通しは。◆高齢者はどのように生きてらよろしいか。◆自分がやることを考えてみた。◆選挙に行っても結果は変わらない。投票以外に政治を変えるためにできることは何でしょうか。◆女性が活躍する社会でまず何をすべきですか。◆いつもサンデーモーニングを拝見しています。コメントは鋭くわかりやすく大変共感できます。（一部）などでした。

これからも、学ぶ議会として町民講座を開催していきます。



## 福祉文教常任委員会 【飯綱町社会福祉協議会との懇談会】

視察



9月12日、飯綱町社会福祉協議会との懇談会を行った。社協の現状について、事業報告や事業計画等の説明を受け、

- ①慢性的な介護人材の不足
- ②新型コロナウイルスの感染防止対策への経費負担
- ③最低賃金の改定や物価高騰を受けた財政問題

など、様々な課題について、質疑ならびに意見交換をした。



# モニターアンケートにお答えします

## 議会だより第71号(6月定例会)

Q

・「いいづなトレイルラン」があったこと知りませんでした。これから「ワールドカップノルディックウォーキングハーフマラソン大会」が9月に行われるとのこと、国内外からの参加者が集まり大きな大会になるでしょう。飯綱町の宣伝も含め大会を盛り上げてもらいたいと思います。

A

・9月24日に「ワールドカップノルディックウォーキングハーフマラソン大会」が開催されました。今回、エントリーした234名のうち、香港・フランスなど海外からの参加者もありました。残念ながら町内からの参加者は少数でしたが、ボランティアの方々や、北部高校の生徒さん達のお手伝いもあり盛り上がった大会でありました。また、「みつどん」出演やグッズの販売、町特産のりんごのふるまい等もありました。



モニターアンケート

Q

・ウェルビーイング (Beyond GDP)、個々に目指すものに違いはあると思いますが、大いに議論し町としての方向性を掲げてください。  
記事に最新政治英語のカタカナがよく出てきますが(今回はwellbeing)意味の本質がわかりづらいと思います。できるだけ、最新外来語を使わずに、美しい日本語での構成がいいと思います。

A

・つい最近の民間会社の発表によると、「長野県版 街の幸福度ランキング」で飯綱町は原村、飯島町に次いで第3位で、「住み続けたい街」では、小布施町に次いで第2位でした。行政、住民が共働して1位を目指して頑張りましょう。  
カタカナ表記についてですが、質問者、編集委員も日本語をなるべく使う努力をしていますが、和訳が特にないものについては、どうしてもカタカナになってしまいますので、注釈をつけている次第です。ご理解をお願いします。



Q

・町民講座はよい企画だと思います。2023年度も知識欲をみたすことができました。もっと若い人たちにも聴講してもらえるようになればいいなあと思います。是非続けてください。

A

・今回、コロナ前に予定していた講演者の青木理さんに改めて依頼し実現したものでした。内容は、時事ネタや憲政史に関するものの発言が多かったです。歴史を紐解いて意見を述べられる姿に敬服しました。若い人の聴講者が増えることは大切なことですので、今後の企画に反映していけるように検討してまいります。  
(参考記事19ページ)

Q

・春から夏にかけて道路沿いの草が道幅を狭くしていますが…草刈り等、どこに要望したらいいのでしょうか。各地区から議員の方が選ばれていますが、気にならないのでしょうか。児童の通学にも支障をきたしているような気がします。

A

・春先の除雪作業による道路の穴、春夏の草、支障木等については、議員としても町の建設水道課の道路維持の係に繋いだりしています。まち通報アプリ「iなびレポート」で写真等を添えて担当課に通報することもできます。ただし、県道については県の受け持ちになりますので、役場から県にお伝えしていただくようになります。

Q

・集落組織健全化についてですが、町内のどの組や区でも役員の改選時には大変ご苦労されているようです。ますます高齢化している中で役員の負担も大きくなり集落組織の運営も大変になってきています。各地区での検討とともに、町としても良い方向性を示していただきたいと思います。

A

・人口減少は役員のなり手不足など地域に様々な課題が生じています。集落機能の維持や地域を活性化していくことは、町にとって非常に重要なテーマであると考えています。町は、町民の皆さんとしっかり話し合いながら、誰もが住みやすく、持続可能な地域づくりを検討していきます。  
(回答 総務課)



# 第5代 飯綱町議会 視察受け入れ状況

コロナ禍で最多期と比べ、減りはしましたが再開して視察の受け入れをしてまいりました。以下ここ2年間に訪れた議会の一覧です。

| 受入日        | 議会名等                 | 人数 | 研修内容                     |
|------------|----------------------|----|--------------------------|
| 令和3年7月27日  | 長野県飯山市議会             | 5  | 議会改革の取組                  |
| 令和4年10月19日 | 北海道羊蹄山麓町村議会<br>正副議長会 | 27 | 議会改革の取組<br>政策サポーター制度     |
| 令和4年10月21日 | 栃木県野木町議会             | 7  | 政策サポーター制度                |
| 令和4年10月24日 | 栃木県下野市議会             | 9  | 議会改革の取組                  |
| 令和4年11月10日 | 群馬県長野原町議会            | 12 | 議会改革の取組                  |
| 令和4年11月16日 | 長野県阿智村議会             | 14 | 議会改革の取組                  |
| 令和4年11月18日 | 石川県内灘町議会             | 7  | 議会改革の取組                  |
| 令和5年1月11日  | 岩手県北上市議会             | 6  | 政策サポーター制度                |
| 令和5年5月10日  | 富山県南砺市議会             | 9  | 政策サポーター制度                |
| 令和5年7月20日  | 山梨県甲州市議会             | 9  | 議会だよりモニター制度              |
| 令和5年7月21日  | 宮城県登米市議会             | 10 | 議会だよりモニター制度              |
| 令和5年8月2日   | 京都府精華町議会             | 10 | 政策サポーター制度<br>議会だよりモニター制度 |
| 令和5年8月4日   | 三重県町村議会議長会           | 15 | 議会改革の取組                  |
| 令和5年8月21日  | 茨城県土浦市議会             | 9  | 政策サポーター制度<br>議会だよりモニター制度 |
| 令和5年9月29日  | 石川県津幡町議会             | 17 | 議会改革の取組<br>議員なり手不足について   |
| 令和5年10月4日  | 福島県只見町議会             | 6  | 議会改革の取組                  |
| 令和5年10月5日  | 熊本県御船町議会             | 17 | 政策サポーター制度                |
| 令和5年10月11日 | 石川県能登町議会             | 15 | 議会改革の取組<br>議員なり手不足について   |
| 令和5年10月17日 | 新潟県弥彦村議会             | 11 | 政策サポーター制度<br>議会だよりモニター制度 |
| 令和5年10月20日 | 長野県信濃町議会             | 5  | 議会だよりモニター制度              |

飯綱町議会は平成19年から「議会改革」を進めてきました。平成24年には議会基本条例を制定・指針とし、町行政の持続的発展と住民福祉向上を目指しています。

なかでも住民に開かれた議会、住民の声を行政に反映する具体化策で「議会広報モニター」を創設し、住民の意見等を議会報編集に活かしたり議会活動に反映させること、また「政策サポート制度」を創設し町民参加の下で政策提言活動に取り組むことなどに関心をもたれ、「議会誌」等で評価され、先進地として視察・研修先選ばれたようです。これからも我々自身の議員力を高め議会力を発揮していくよう、努めてまいります。



視察の様子 R.4.10.21 栃木県野木町



# 新しい町づくりへ 私の提案

第32回

## 議員定数、報酬 私の提言



宮本 隆之さん  
(倉井)

生まれてこのかた飯綱町に住んでいます。なんだかんだ言って、いいところですよ。

今全国的に少子化、高齢化などに市町村議会議員のなり手不足、無投票選挙の慣例化が問題になっています。そこで私は無謀な提言を申し上げます。

①議員定数を現在の半数に削減します。

②議員報酬を現在の倍額  
(月額約35万円)に増額します。

こうすることにより、若い人の立候補が増えて無投票選挙は無くなります。ただし各議員は一人当たりの仕事(委員会など)も倍増しますので、議員職以外の仕事をする余裕がありません。

ちなみに、人口が飯綱町の約3倍の奈良県五條市は平成25年から議員定数を12名に変更して運営されています。いかがでしょうか。

## 地域の繋がりが 大切



北尾 優子さん  
(普光寺)

私が飯綱町にきて12年。初めは電車の本数が少なくてびっくりしました。しかし、今は快適に暮らして、民生委員として、少し地域のお役に立てるようになりまし。そんな私からの提案です。

1、地域の繋がりを大事に。

信頼を失うのは一瞬ですが、つくるには何年もかかります。今ある良き関係、大事です。

2、一人で頑張りすぎない。

誰かに相談するのは勇気がいることかもしれませんがね。でも相談することで何か道が開けるかもしれません。

3、住民の信頼に足る行政。

自分で頑張る、自分達でも支え合う。そんな町民に応えられている行政か、いつも確認をお願いしたいです。

## 集落の横の繋がりを つくる



三原 彩音さん  
(地域おこし協力隊)

飯綱町に移住してもうすぐ1年になります。都会では感じるものが難しかった四季を存分に味わい、聞いたことも見たこともないリンゴの品種の多さとその美味しさに驚きながら日々楽しく過ごしています。

そして同時に地域おこし協力隊として「集落創生事業」の推進に携わりもうすぐ1年になります。地域の皆さんには日々、ありとあらゆるお話を聞かせていただいています。この場を借りて感謝申し上げます。そんななかで感じるのは、高齢化・人口減少により低下が危惧される集落機能の維持を図ろうと実施されている集落創生事業ですが、新たに始めようとする、やはりネックになるのが「人手不足」の問題だということです。このままでは、人手不足の問題に拍車をかけ、集落の負担を増やすだけの事業になりかねません。そこで私の提案は、お隣同士など複数の集落で事業に取り組むことです。複数の集落が一緒になることは、そんな簡単なことではないとは思いますが、将来を見据えて、少しでも集落同士の横の繋がりをつくっておくことが後々、役に立つのではないかと思っています。

いづな歴史ふれあい館

令和5年度特別展

11月26日まで

# 飯綱町と食べごと文化

昭和30年代前半頃の一般家庭の日常の食事に光を当てた。そこには、土地の風土を生かす知恵と自然の命をいただく喜びや安心が淀っている。

町は米と果実・野菜栽培が盛んな土地柄で、農業中心の暮らしと共に食べごと文化は姿を変えつつ時代を超えて生きていく。(特別展図録より)

## 2階展示会場より

写真上「本物そっくり、年越し料理の食品サンプル」

祖の霊が年神様になって帰ってきて、一緒に年を越す。一年で一番の御馳走。中央の赤身の塩鮭が主役。

写真下「3か月かけて作成したせんぜ畑のジオラマ」

季節の巡りとともに様々な野菜が入れ替わる庭続きの畑、せんぜ畑は日々の台所の延長であった。



## 72号表紙説明

東黒川の保存会による獅子舞が、初めて若者向け住宅地でも披露されました。東黒川区から移住者への歓迎の贈り物でした。コロナのため、延び延びになっていましたが、雨予報を吹き飛ばし、多くの家族連れで賑わいました。



子供たちも集まってお祝い

## 議会だよりモニター

# 生の声

33



松橋 湧太郎さん (普光寺)

1年間議会モニターをやらせていただき、いろいろと勉強させてもらいました。他のモニターの方々も、町の事を考えたくさんの意見を提案していてとても良いと感じました。しかし、意見や提案に対して、何か変わったのか、

議員さんが提案したものは実現したのか、どうなのかがよくわかりません。そういったものの成果発表をしてみたいかがでしょうか。



## 12月定例会予定

11月29日～12月14日(16日間)

一般質問

12月1日(金)・12月4日(月)

常任委員会

12月5日(火)・12月6日(水)

## 編集後記

第5代飯綱町議会の前期の編集委員会も今回が最後となりました。議会報モニターの方々にも、毎号ごとに感想やご意見をいただき、大変ありがとうございました。今後も、町民の皆様に親しんで頂けるような紙面づくりに努めてまいります。(信)

## 編集委員

|      |       |
|------|-------|
| 発行委員 | 渡邊千賀雄 |
| 委員長  | 石川信雄  |
| 副委員長 | 中井寿一  |
| 委員   | 小林文廣  |
| 委員   | 瀧野良枝  |
| 委員   | 青山弘   |
| 委員   | 中島和子  |